

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

## 化粧坂道路改良事業 開通式を開催しました。(気仙沼土木事務所)

令和5年2月17日に主要地方道気仙沼唐桑線化粧坂道路改良事業の開通式を開催しました。当該地区は、急勾配・急カーブが続き、大型車のすれ違い等も困難であったことから、安全で円滑な交通を確保するため、平成26年度から整備を実施しており、事業延長460mのうち320mのバイパス区間が完了し、2月17日午後2時に一般交通開放を行いました。

当日は、遠藤副知事や気仙沼市長、県議会議員の方々をはじめ、関係者のご臨席を賜り、テープカット及びくす玉開披を行い、開通をお祝いしました。また、気仙沼人力車木遣会の木遣唄に続き、臨席者の方々に人力車を先頭に歩き初めを行いました。

今回の供用により、市街地間の円滑な移動などの利便性や、緊急輸送道路としての機能性の向上などが期待されます。来年度以降、現道拡幅区間を含めた全線の早期完成に向けて引き続き工事を実施する予定です。



テープカット・くす玉開披



気仙沼人力車木遣会による木遣唄



歩き初め

## 富県宮城グランプリ「みやぎの食」振興部門賞を受賞されました

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

令和5年2月7日(火)に「第11回富県宮城グランプリ表彰式」が宮城県庁で行われ、気仙沼市潮見町の株式会社齊吉商店さんが部門賞(「みやぎの食」振興部門)を受賞されました。

富県宮城グランプリは、富県宮城の実現に向けて、県産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業、団体及び個人を称える制度です。

齊吉商店さんは、看板商品である「金のさんま」が多数の品評会で賞を受賞されており、特に震災後は自社のブランド力向上に尽力され、ECサイトを活用しながら気仙沼や宮城の食材・風土・文化のファン獲得に貢献されたことが高く評価されての受賞となりました。

齊吉商店さん、おめでとうございます◎

齊吉商店 HP はこちら→ <http://www.saikichi-pro.jp/>



表彰式の様子



看板商品「金のさんま」

## 全国青年・女性漁業者交流大会「水産庁長官賞」を受賞されました

(気仙沼地方振興事務所水産漁港部)

令和5年3月1日・2日に、第28回全国青年・女性漁業者交流大会が東京都内で開催され、管内の青年・女性漁業者の2団体が日頃の活動成果を発表し、『水産庁長官賞』を受賞しました。審査員からは「ブルーツーリズムを核として大きな地域振興に繋がった取り組みが地元経済に与えた効果は大きい」、「地元企業と協力した商品販売が食のビジネスモデルになる」と高く評価されました。おめでとうございます🎉

### 【多面的機能・環境保全部門（受賞団体：南三陸海しょくにん）】

養殖体験や釣り船体験などブルーツーリズムを核とした町おこしイベントを開催し、地元経済の活性化・町おこしに繋がったことを発表しました。

### 【地域活性化部門（受賞団体：南三陸おふくろの味研究会）】

地元の魚介類を使った「おかんの缶詰」を開発し、イベントやインターネット等の販売を通じて全国の方々に南三陸町をアピールした内容を紹介しました。



南三陸海しょくにん発表の様子



南三陸おふくろの味研究会発表の様子

## ワカメの初入札会が開催されました (気仙沼地方振興事務所水産漁港部)

「三陸ワカメ」のブランドで知られる宮城県産ワカメの初入札会が令和5年2月21日に宮城県漁業協同組合わかめ流通センター（気仙沼市波路上）において開催されました。

今漁期のワカメは、昨年10月下旬から11月上旬にかけて水温が高めに推移したことから、若干の芽落ちが見られたものの、その後は順調に生育し品質は上々。初入札会では、気仙沼市、南三陸町など、9つの浜から塩蔵ワカメ70トンが上場されました。県内外から約50者の買受人が訪れ、ワカメの色や香り、厚みなどを確かめていました。塩蔵ワカメ10kg当たりの平均単価（芯抜き）は9,806円で、昨漁季初回の8,278円を2割近く上回りました。

三陸ワカメは肉厚でシャキシャキした歯応えが特徴。皆さんも肉厚で風味が良い三陸わかめを召し上がってみてはいかがでしょうか。入札は5月上旬まで11回予定しています。



品質を確かめる買受人



上場された塩蔵ワカメ

## 磯の開口が始まりました（気仙沼地方振興事務所水産漁港部）

春の訪れとともに、各浜では磯の開口が始まります。採取した海藻類は乾燥や加工を施し販売することで貴重な副収入となります。しかし、これらの海藻は天然に自生するものであるため、生産量は不安定で、安定した収穫量を確保するためには漁場の管理が必要となります。

そこで当部では、宮城県漁業協同組合志津川支所女性部と連携し、令和4年6月に南三陸町志津川地区の権現（船揚げ場）において、磯掃除及びフノリ孢子液の散布をするなど、漁場の管理を行い、8ヶ月後の令和5年2月23日には着生したフノリ約15kg（乾燥）を採取しました。採取したフノリは南三陸町地方卸売市場へ出荷したほか、同年2月26日に開催された「第2回ラムサール志津川湾牡蠣祭り」で1パック20g（乾燥）入りを350円で販売、用意した40パックはあっという間に完売するほど大盛況でした。



フノリを採取している様子



出荷作業

## 女性農業者研修会を開催（気仙沼地方振興事務所農業振興部）

農業と地域の活性化における女性の役割は重要さを増しており、女性農業者の活躍が期待されています。そこで、気仙沼地域内外で活躍している女性起業者の取組を学ぶとともに、女性農業者のネットワークづくりを目的とした研修会を令和5年2月27日に開催しました。

研修会では、震災後、亘理町で株式会社WATALISを設立し、地元の女性とともに、着物のアップサイクルによる伝統文化の伝承と発信に取り組む引地恵さんから「女性の起業、子育てとの両立と地域振興」をテーマに御講演いただきました。また、事例紹介として、合同会社でんでんむしカンパニー（南三陸町）の中村未来さんより、「藍の生産、藍染めと農家民泊の取り組み」を御紹介いただきました。

意見交換では、参加者から「ちょっとした夢」をお話いただき、参加した女性農業者間の交流を図ることができました。



研修会の様子



意見交換の様子

## みやぎ農業未来塾を開催 (気仙沼地方振興事務所農業振興部)

令和4年12月14日、本吉響高校で農業を専攻する生徒4名を対象に、管内の農業を学ぶ「みやぎ農業未来塾」を開催しました。

当日は、南三陸町で就農し、自ら栽培した農産物を利用したクレープの製造・販売を行う大沼さんから、就農のきっかけや農園カフェを開きたいという将来の夢をお話しいただきました。また、ぶどうの栽培からワインの醸造・販売を行う南三陸ワイナリー株式会社を訪問し、佐々木社長から、ワインを通じて地元の農業者や水産業者、様々な企業とつながりができたこと、今後も地域に味わいと賑わいを生み出したいという目標をお話しいただきました。

将来の夢を楽しそうに話す大沼さんや、南三陸とつながり、賑わいを生み出したいと熱く語る佐々木社長に触発され、生徒の皆さんからも多くの質問が出され、それぞれの心に強い印象が残る未来塾となりました。



バス車内での大沼さんの説明



南三陸ワイナリーを見学

## 「感染症予防対策セミナー」を開催しました (気仙沼保健福祉事務所(気仙沼保健所))

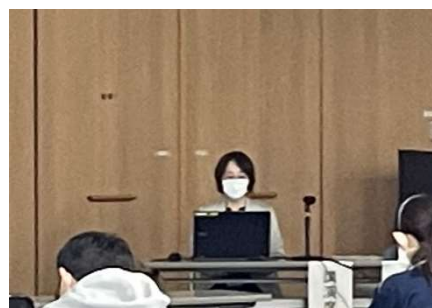
令和4年12月22日(木)、高齢者事業所職員を対象に、新型コロナウイルスの基礎知識や陽性者発生時の対応について理解を深めることを目的とした、「感染症予防対策セミナー」を開催しました。

宮城県内の施設等に感染対策における訪問指導を行い、感染防止に向けた支援の第一線で活躍されているNPO法人みやぎ感染予防教育推進ネットワーク「きれいな手」の残間由美子氏にご講演いただきました。新型コロナウイルスに関する情報や制度が日々更新されていく中で、最新の動向・情報について講演いただき、参加者からは「新しく知り得た情報や内容が多々あった」「具体的な感染予防対策を再確認する機会となった」等のご意見を頂きました。また、当所から認知症高齢者への感染対策と対応についても説明し、「現場で実践していきたい」等の声が寄せられました。

来年度も、地域の感染症発生動向に応じた研修会を開催していく予定です。



会場とWebで計99名参加しました



新型コロナウイルスの最新の動向をご講演いただきました

## 保健・衛生活動への保健所長表彰を行いました (気仙沼保健福祉事務所 (気仙沼保健所))

気仙沼管内の地域保健医療、食品及び環境衛生活動や薬物乱用防止活動などに関し、長年に渡り大きな貢献のあった個人、団体や施設に対して、例年、保健所長から表彰を行っています。

これは、各関係団体の組合などから推薦を受けた個人・団体及び理美容や宿泊施設等の環境優良施設の中で、他の模範となるなど功績が顕著である方々を称えるもので、それぞれの活動ごとに表彰が行われています。

今年度は、地域保健医療活動から6人の方々を、食品及び環境衛生活動から3人と11施設を、薬物乱用防止活動から1人と2団体を表彰させていただきました。



表彰式の様子



表彰状

## “歩数アップチャレンジ”を実施しました! (気仙沼保健福祉事務所 (気仙沼保健所))

気仙沼保健福祉事務所では、令和4年10月から11月にかけての2か月間、「歩数アップチャレンジ2022」を実施しました。“歩数アップチャレンジ”とは、各事業所内で3人1組のチームをつくり、チームごとや事業所ごとの2か月間の歩数を競うというもの。気仙沼管内のほか、全県的な取組として実施したもので、県内50以上の事業所が参加しました（管内は5事業所）。

宮城県は、メタボ該当者・予備群の割合が12年間ワースト3位以内という状況。その要因の一つに、「歩数が少ないこと」があります（こちらも全国ワースト7位\*）。\*H28 国民健康・栄養調査男性の状況

今回このチャレンジに参加した事業所からは、「階段を使うなど時間の間を見て歩数を増やした」など、仕事をしながら歩数アップに取り組んだ声も聞かれました！気仙沼保健福祉事務所では、管内上位の事業所に表彰式も実施。次年度もぜひ、参加する事業所をお待ちしています♪

	事業所名	歩数
1位	気仙沼市役所	9,642歩
2位	気仙沼市立津谷中学校	8,701歩
3位	アクサ生命保険株式会社	3,870歩

気仙沼管内の事業所ランキング TOP 3

(3チーム以上参加の事業所)



上位事業所への表彰状と副賞

# 気仙沼・南三陸の移住者の皆さんの暮らしを収めた動画を公開しました

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

気仙沼市、南三陸町への移住を促進するための動画を制作しました✧  
気仙沼・南三陸に魅力を見つけ、“自分らしくいられる場所”に移住した7名の暮らしや仕事の様子、移住後に気づいた新たな発見などを収めた動画となっています。  
こちらからぜひご覧ください！

【気仙沼市】「気仙沼とわたし。」

【南三陸町】「IT S WHERE I BELONG」



気仙沼市サムネイル画像



南三陸町サムネイル画像



気仙沼市ロングバージョン



気仙沼市ショートバージョン



南三陸町ロングバージョン



南三陸町ショートバージョン